



令和3年度 学校だより

# はがきた

第8号 令和3年11月30日

## 教育目標

集中して学び、生命と人権を守り、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育成する。  
『学ぶ子 守る子 がんばる子』

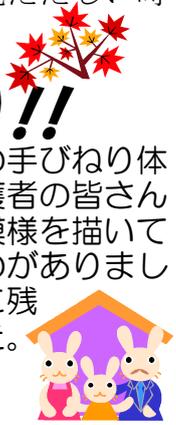
## 2学期終わりまであと1か月!



明日から12月。校庭の銀杏の木はいつの間にか落葉し、もうすぐ寒い冬といったところですが、保護者の皆様には御健勝のことと思います。令和3年も残すところあと1か月となりました。児童は明日の校内持久走大会を控え、業間のランRUNタイム等で、一生懸命練習に励んでいます。大会では順位はつきませんが、困難に挑戦するという気持ちが自分を育てていきます。児童たちの精一杯の取組を期待したいと思います。また、27日に行われた資源物回収は大変お世話になりました。収益金につきましては児童のために有意義に使わせていただきます。ありがとうございました。12月になると何かと慌ただしい時期となります。交通事故等お互いに気をつけていきましょう。

## 家庭教育学級(1年益子焼手びねり体験)!!

11/18(木)に1年生の家庭教育学級が行われました。今回は益子焼の手びねり体験ということで、岩村さんと三戸さんのお二人の講師をお招きし、児童と保護者の皆さんがそれぞれの作品作りに取り組みました。いろいろな形のお皿に思い思いの模様を描いていました。児童と話しながら作り上げていく姿には、とても微笑ましいものがありました。焼き上がりは色がつくので、また違った感動が得られると思います。心に残るよい思い出が作れたのではないのでしょうか。御協力ありがとうございました。



## 野口記念館出前授業

11/18(木)、福島にある野口英世記念館の方が来校し、出前授業が行われました。この記念館には、修学旅行で訪ねることになっていて、そのための事前学習になります。野口英世博士についての詳しい説明があり、しっかりと見聞きたいと感じました。素晴らしかったのは、6年生の聞き方です。こんなふう聞いてくれたら、話し手もうれしいな、といえるような聞き方でした。学び合い学習での成果が、こういう所にも現れているように感じました。

## 読書祭り

11/17(水)には、読書祭りが行われました。図書委員会から本の紹介や読み聞かせ、さらにはクイズと興味がそそられる楽しい内容でした。芳賀北小の児童は、とても読書量が多く感心しています。これも、図書委員のみなさんや司書の先生の力が大きいです。ありがとうございました。



## 12月の主な行事予定

- |       |                          |                  |                          |
|-------|--------------------------|------------------|--------------------------|
| 1(水)  | 校内持久走大会<br>クラブ⑤          | 15(水)            | 総合学力調査 クラブ⑥              |
| 2(木)  | 6年修学旅行(~3日)              | 16(木)            | 清掃がんばり週間①                |
| 3(金)  | 校内人権週間(~10日)             | 17(金)            | 6年GTEC 清掃がんばり週間②         |
| 6(月)  | 安全点検<br>自主学習強調週間(~12日)   | 20(月)            | 交通安全教室                   |
| 7(月)  | 更生保護女性会*ランティ             | 21(火)            | 教職員による読み聞かせ<br>清掃がんばり週間③ |
| 8(火)  | 北小タイム(キッズタイム:大縄跳び練習)     | 23(木)            | 更生保護女性会*ランティ<br>ICT支援員訪問 |
| 10(金) | ICT支援員訪問                 | 24(金)            | 清掃がんばり週間④                |
| 14(火) | ICT支援員訪問<br>更生保護女性会*ランティ | 冬期休業(12/25~1/10) |                          |



# ★児童たちの活躍・学校生活の様子★

【読書祭り】



【租税教室】(6年)



【家庭教育学級(益子焼体験)】(1年)



【避難訓練(不審者対応)】



【野口記念館出前授業】(6年)



【研究授業】



## 年末大掃除～1年の感謝を込めて～

明日から12月。コロナ感染症対策に追われた令和3年が年末を迎えます。年末となると思い浮かぶのは「大掃除」です。毎年、あそこもここもきれいにしなくては、と思うのですが、なかなかその通りにはいかないのではないでしょうか。

「大掃除」の起源は、煤(すす)払いだそう。昔は、家の中に囲炉裏やかまどがあり、家中が煤だらけになったので、煤を払うということが掃除の象徴だったそうです。また、払うという言葉には、清めるという意味があるそうです。ではその「大掃除」をいつ始めるのかというと、12月13日だそう。旧暦12月13日、この日には諸説あるのですが、婚礼以外は万事に大吉とされる鬼宿日(きしゅくにち)だったため、江戸時代に江戸城で煤払いが行われ、一般に広がったと言われています。

では、なぜ吉日を選んで煤払いをしたのでしょうか。それは、煤払いというのは単なる掃除ではなく、新年を司る年神様を迎えるための神聖な清めの行事だったからだそうです。現在、煤払いというと神社やお寺の煤払いを思い浮かべるのは、そのためですね。私たちが大事なお客様を迎えるときに念入りにお掃除をするのと同じ考えです。

「大掃除」をするとスッキリした気持ちになれます。これは、「大掃除」がけじめのひとつと考えられているからです。煤払いにお清めの意味があるように、「大掃除」で様々なものを払ってけじめをつければ、気持ちよく新年を迎えることができると思います。お正月は、魂を更新(パワーチャージ)する特別で最重要な時と考えられています。隅々まできれいにすれば、きっと年神様が様々な福徳を授けてくださることでしょう。

こうして考えてみると、「大掃除」は単なる掃除ではありません。この1年に感謝し、新しい年を気持ちよく迎えるための大きな行事です。ですから、新たな年がよい年になるよう年神様に気持ちよく来ていただくために、「大掃除」をある一定の期間を設け、計画的に行ってみてはどうでしょうか。私は、今年こそしっかりと「大掃除」をと、決意を新たにしたいところです。でも、決意は毎年しているんですけどね…。



※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。  
ぜひ御覧ください。